


### 鉄鋼事業部門

**3,544億円** (前年同期比 +22.1%)




- 鋼材販売数量：輸出は減少するも、国内の自動車向け需要の堅調な推移などにより、前年同期比増
- 鋼材販売価格：主原料価格の上昇などの影響を受け、前年同期を上回る
- 鍛造鋼品売上高：船舶向け需要の減少により、前年同期比減
- チタン製品売上高：航空機向け販売の増加により、前年同期比増
- 経常損益：前年同期比282億円改善の184億円の利益

組立型クランクシャフト

### 溶接事業部門

**397億円** (前年同期比 △6.0%)




- 溶接材料：国内の建築鉄骨やエネルギー向け需要が回復傾向にある一方、韓国向けの大幅な減少により、前年同期比減
- 溶接システム売上高：建築鉄骨向け需要が堅調に推移するも、高水準であった前年同期比減
- 経常利益：前年同期比12億円減益の25億円

各種溶接材料

### アルミ・銅事業部門

**1,743億円** (前年同期比 +7.0%)




- アルミ圧延品：飲料用缶材向け需要が前年同期並も、自動車向け需要の増加により、前年同期比増
- 銅圧延品販売数量：前年同期並 [銅管] タイの生産拠点での設備トラブルによる販売数量減 [銅板条] 自動車用端子や半導体向け需要増
- 経常利益：前年同期比14億円増益の79億円

アルミボトル缶材

### 機械事業部門

**705億円** (前年同期比 △2.0%)



- 受注高：中国の石油化学分野などの市場が回復基調にあったことから、前年同期比20.2%増の671億円
- 当期末受注残高：1,353億円
- 経常損益：圧縮機の一部案件の採算性悪化により、前年同期比42億円悪化の4億円の損失

スクリュ式非汎用圧縮機

### 当期の概況

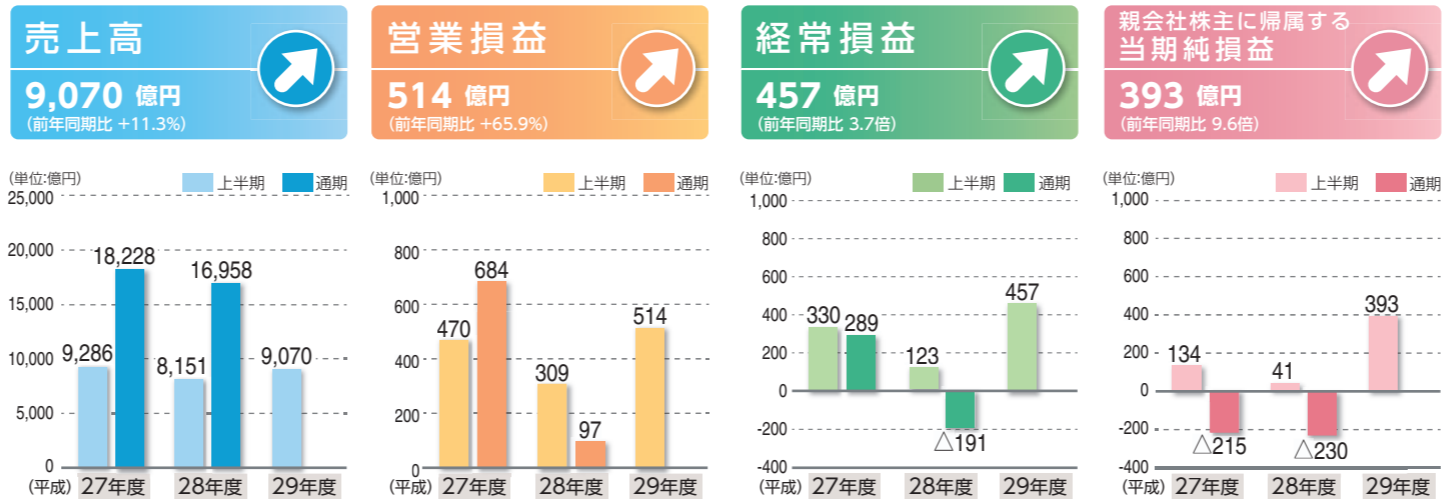
当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、自動車向けの需要が堅調に推移したことなどから前年同期を上回りました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材向けの需要が前年同期並であったものの、自動車向けの需要が増加したことにより、前年同期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅管において設備トラブルにより販売数量が減少したものの、銅板条において自動車用端子や半導体向けの需要が増加したことから、前年同期並となりました。油圧ショベルの販売台数は、国内及び中国などで需要が増加したことから、前年同期を上回りました。

この結果、当上半期の売上高は前年同期比919億円増収の9,070億円となり、営業利益は前年同期比204億円増益の514億円、経常利益は前年同期比

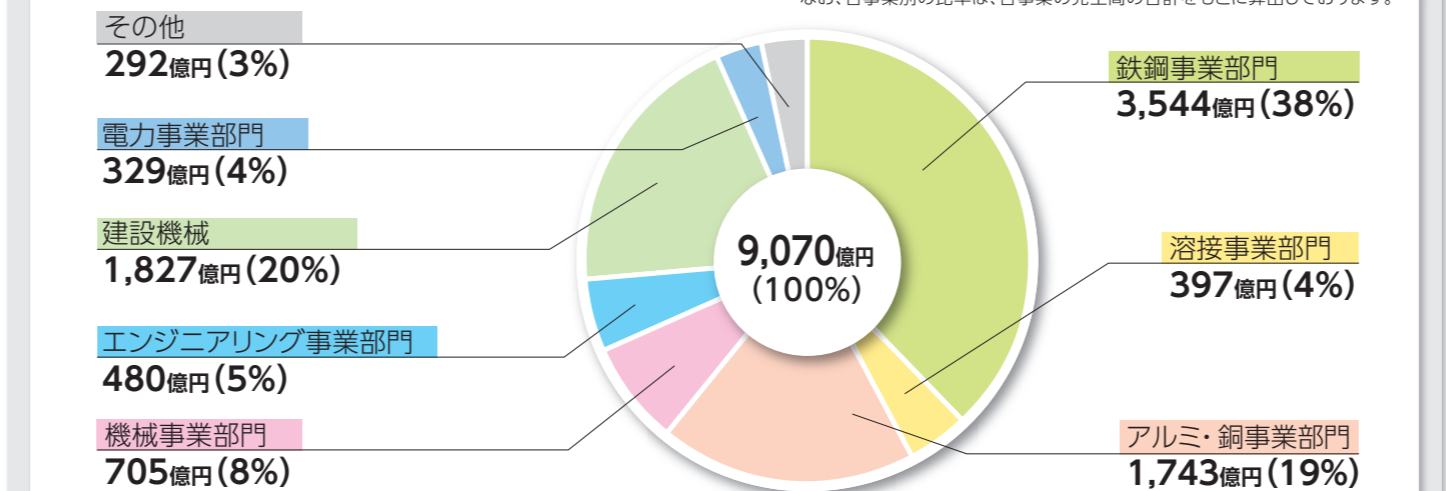
△334億円増益の457億円となりました。特別損益は、投資有価証券売却益を計上したことから90億円の利益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比352億円増益の393億円となりました。

なお、このたび、当社および当社グループの複数の会社における、製品に対する不適切な行為に関しまして、株主様、お客様、お取引先様そのほか多数の皆様にご迷惑をおかけしておりますこと、改めて深くお詫び申し上げます。当該不適切行為に関し、アルミ・銅事業部門において、品質管理の適正化に伴う不良率の増加によるコストアップや減産影響に加え、一部不適合品在庫の処分などの影響は生じたものの、当上半期の業績への金額影響は僅少です。

### 業績ハイライト (連結)




### ■事業別売上高 (平成29年度 上半期)



### エンジニアリング事業部門

**480億円** (前年同期比 △3.2%)



- 受注高：還元鉄プラントで大型受注があった前年同期に比べ減少し、前年同期比30.7%減の559億円
- 当期末受注残高：1,909億円
- 経常利益：進行中の一部案件での採算性の改善などにより、前年同期比17億円増益の17億円

MIDREX®プラント(ロシア)

### 建設機械

**1,827億円** (前年同期比 +17.0%)




- 油圧ショベル販売台数：前年同期比増 [国内] 排ガス規制前の駆込みで需要増 [海外] 中国でのインフラ投資により需要増
- クローラークレーン販売台数：前年同期比減 [国内] 比較的高水準で推移するも一部案件での工事遅延などにより減 [海外] 東南アジアを中心に需要減
- 経常損益：油圧ショベルの販売台数の増加や中国での油圧ショベル事業の滞留債権に関する貸倒引当金の計上影響がなくなったことなどにより、前年同期比120億円改善の114億円の利益

20トン級油圧ショベル

テレスコピッククローラークレーン

### 電力事業部門

**329億円** (前年同期比 △7.2%)




- 販売電力量：定期修理日数の違いにより、前年同期比減
- 電力単価：燃料の石炭価格の市況上昇の影響を受け、前年同期を上回る
- 経常利益：神戸発電所1号機の新契約移行の影響や定期検査時の保全費の増加などにより、前年同期比49億円減益の33億円

建設中の真岡発電所

### その他

**292億円** (前年同期比 △6.6%)



- 神鋼不動産：[分譲事業] 堅調に推移 [賃貸事業] 堅調に推移
- コベルコ科研：[試験研究事業] 自動車向け受注減
- その他：連結子会社であった神鋼ケアライフ株式会社を、持分法適用関連会社に変更
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比2億円減益の17億円

ゾークレフ西宮北口

(注) 表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。各事業名の下に数字は売上高を記載しております。